

視察報告

議会改革特別委員会

平成31年1月15日 滋賀県米原市

○議会基本条例の検証について・政治倫理条例の制定・改正について
米原市議会においては、基本条例の検証を4年に1回、または必要に応じてこの条例の目的が達成されているかを検証シートを作成し、それを議会運営委員会において検証したり、学識経験者による議員研修と意見交換をおこなっているとのことと参考になりました。



△米原市視察



△鳥羽市視察

平成31年1月16日 三重県鳥羽市

○議会基本条例の検証について・政治倫理条例の制定・改正について
鳥羽市議会においては、「通年会期」を採用しており、会期を1年とし、災害時などには、すぐに予算の補正ができることがメリットであるとのことでした。鳥羽市議会災害時行動計画を策定されており、これはおおいに参考にすべきと考えます。また、議員の会派をなくし、全員協議で対応しているとのこと。会派の有無については一長一短はあるがのびのびと発言できて特別な支障はないとのこと。

自由闊達な意見交換など参考にしながら、土岐市議会も順に改革をしていく必要性を感じました。

行財政改革特別委員会

平成31年2月5日 兵庫県高砂市

○ごみ処理施設整備について

兵庫県高砂市・加古川市・稲美町及び播磨町の東播2市2町では、既存のごみ処理施設の老朽化に伴い、廃棄物処理の広域化を検討され、平成25年2月には処理施設の用地を高砂市において施設整備を整備する事を決定され平成34年3月の竣工にむけて建設中でした。建設工事費は約238億円で、運営費は20年間の業務委託で年間約6億7500万円となっており各市町での負担や運営費の減により高砂市では大幅な負担の軽減の予定となっていると説明を受けました。



△高砂市の建設中のごみ処理施設

平成31年2月6日 兵庫県川西市

○市立川西病院の指定管理について

市立川西病院は平成21年市立川西病院事業経営改革経営改善に努めた結果、医師確保と医業収益は増加しましたが、医師の確保に伴う給与費の増や設備費用の増が収益増を上回り赤字幅は大きくなりました。平成26年度決算で経営健全化団体となったことから市立川西病院経営健全化計画を策定され経営改善に取り組みましたが、病院施設の老朽化、市の財政支援の限界と経営形態の見直しを検討され、従来の市立川西病院250床と指定管理者の共立病院313床を合併し400床の新病院の整備を決定され平成32年度から平成33年度に建設工事が行われる予定となっております。指定管理者の建設費負担により現在の繰出金から比較すると大幅な財政負担の軽減となるとの説明を受けました。